

エコアクション21 環境経営レポート

53期

(令和5年10月～令和6年9月)



令和6年10月31日



九州グラウンド株式会社

代表取締役社長 生林 弘太郎

目 次

| | | |
|----|---------------------------------|---|
| 1 | 組織の概要 | 1 |
| 2 | 対象範囲（認証・登録の対象組織・活動） | 1 |
| 3 | 環境経営方針 | 2 |
| 4 | 環境経営目標 | 3 |
| 5 | 環境活動計画及びその取組結果と評価並びに今後の取組内容 | |
| | （1）二酸化炭素排出量の削減 | 4 |
| | （2）廃棄物排出量の削減 | 4 |
| | （3）上水使用量の削減 | 4 |
| | （4）化学物質の適正管理（最低必要量の購入） | 4 |
| | （5）グリーン購入の推進 | 4 |
| | （6）事業活動における環境配慮（校庭芝生化の技術提供） | 4 |
| 6 | 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無 | 5 |
| 6. | 代表者による全体評価と見直しの結果 | 5 |

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 九州グラウンド株式会社
- (2) 代表者氏名 代表取締役社長 生林 弘太郎
- (3) 所在地 本社 〒811-0214 福岡市東区和白東2-1-44
資材置場 〒811-0322 福岡市東区大岳2-11
- (4) 環境管理責任者 課長 松枝 宏人
- (5) 連絡先 TEL 092-607-0444
FAX 092-607-0443
Eメール info@k-ground.com
ホームページ www.k-ground.com
- (6) 事業の内容 造園工事・造園管理・造園資材販売・土木工事
- (7) 事業の規模 53期 売上高 411762 千円
従業員数 46名（パート・アルバイトを除く）
- (8) 事業年度 10月1日から翌年9月30日
- (9) 資本金 30,000千円
- (10) 会社設立年月 昭和46年10月

2. 対象範囲（認証登録の対象組織・活動）

- (1) 対象組織 本社、資材置場
- (2) 対象活動 造園工事、造園管理、造園資材販売、土木工事
- (3) 対象外組織活動 なし（全ての組織及び全ての活動を対象とする）

環 境 経 営 方 針

＜基本理念＞

当社は、スポーツ施設・公園及び公共緑地の工事・維持管理業務を通じて、地域社会の緑化推進に努め、地球環境に配慮した事業活動に社員全員で継続的改善を行います。

＜基本方針＞

1、次の事項に取り組みます。

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
ガソリン使用料の削減
軽油使用量の削減
電気使用量の削減
- (2) 廃棄物排出量の削減
- (3) 水使用量の削減(節水)
- (4) グリーン購入の推進
- (5) 化学物質の適正管理
- (6) 事業活動における環境配慮(校庭緑化の技術提供)

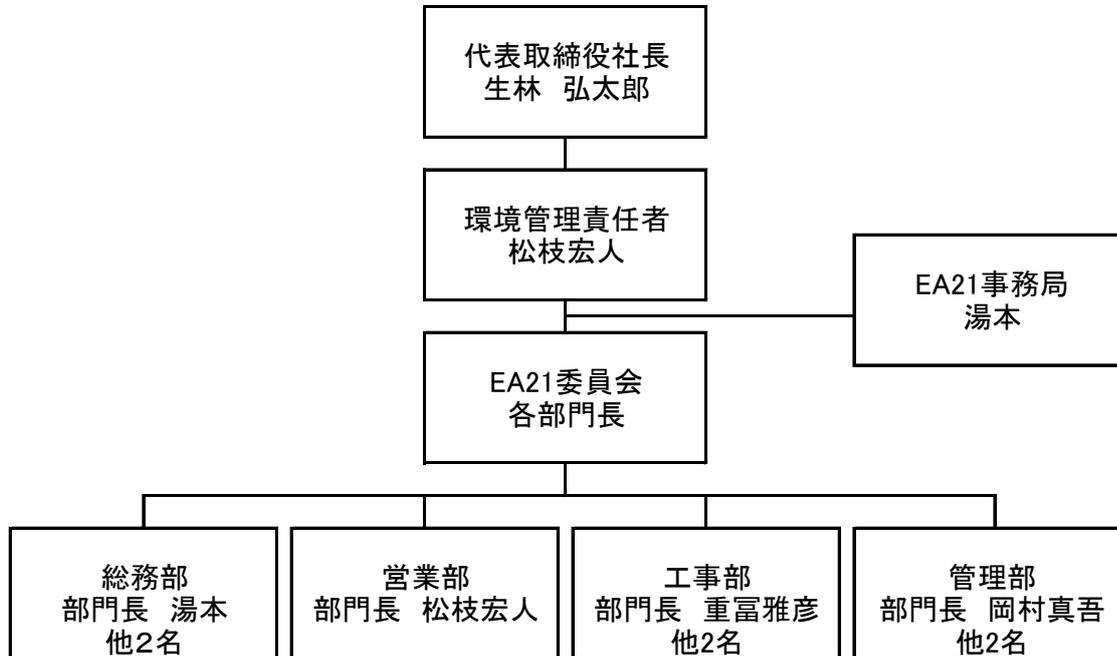
2、関係する環境関連法規の遵守

3、地域貢献活動の推進

- ①緑化ボランティアへの参加
- ②敷地内の植栽管理

平成24年 9月1日 作成
平成24年11月1日 改訂
九州グラウンド株式会社
代表取締役社長 生林 弘太郎

実施体制図



役割分担表

| 所属 | 役割・責任・権限 |
|---------|---|
| 代表者 | <ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般についての責任と権限を持つ 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する 環境管理責任者を任命する EA21全体の取組状況に関して評価、見直しを実施する |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し実行し、環境実績を向上させる 環境目標、環境活動計画を作成する 3ヶ月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する 上記の結果を代表者に報告する |
| EA21委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 環境活動実績の評価し見直しを行う 環境活動に関する基本方針・行動計画を検討 委員会の開催は3ヶ月に1回とする |
| EA21事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、基礎データの作成及び集計を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> 環境方針及び環境活動計画を部門全員に周知する 環境目標達成のため、自部門の環境活動を推進する |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚する 自主的に環境活動へ参加する |

環境経営目標

- 環境方針を踏まえ当社の事業活動における具体的な環境目標は以下の6項目を設定しました。
- 環境目標に対する実績は以下の通りです

| 項目 | サイト区分 | 単位 | (基準年) | 単年度 | | | | 中長期 | | | |
|------|------------------------------|-------------|-------|-----------------------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|
| | | | 48 | 53期 (R5.10.1~R6.9.30) | | | 54期 | 55期 | | | |
| | | | 実績 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 目標 | | | |
| 1 | 二酸化炭素排出量の削減 | | 全体 | kg-CO ₂ | 246,713 | 239,312 | 225,615 | ○ | 238,594 | 237,878 | |
| | (1) | 電気使用量の削減 | 事務所 | kWh | 11,214 | 10,878 | 14,503 | × | 10,845 | 10,812 | |
| | | | 指定管理 | kWh | 377,733 | 366,401 | 353,434 | ○ | 365,302 | 364,206 | |
| | (2) | ガソリン使用量の削減 | 現場 | ℓ | 25,190 | 24,434 | 16,318 | ○ | 24,361 | 24,288 | |
| | | | 事務所 | ℓ | 3,885 | 3,768 | 4,122 | × | 3,757 | 3,746 | |
| | (3) | 軽油使用量の削減 | | 現場 | ℓ | 15,385 | 14,923 | 16,329 | × | 14,879 | 14,834 |
| | (4) | 灯油使用量の削減 | 事務所 | ℓ | | | | — | | | |
| 指定管理 | | | ℓ | 1,758 | 1,705 | 1,924 | × | 1,700 | 1,695 | | |
| (5) | 都市ガス使用量の削減 | | 事務所 | Nm ³ | 34 | 33 | 22 | ○ | 33 | 33 | |
| 2 | 廃棄物排出量の削減 | | | | | | | | | | |
| | (1) | 一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | kg | 692 | 671 | | — | 669 | 667 | |
| | | | 現場 | t | 132 | | 21 | ○ | | | |
| (2) | 産業廃棄物のリサイクル率向上 | | 現場 | % | 100 | 97% | 99 | ○ | 97% | 97% | |
| 3 | 上水使用量の削減 | | 事務所 | m ³ | 116 | 113 | 99 | ○ | 113 | 112 | |
| | | | 指定管理 | m ³ | 6,281 | 6,093 | 7,326 | × | 6,075 | 6,056 | |
| 4 | 化学物質の適正管理 | | 事務所 | ☐ (在庫確認回数) | 12.00 | 12 | 12 | ○ | 12 | 12 | |
| 5 | グリーン購入の推進 | | 事務所 | % (品目数の割合) | 30% | 30% | 30% | ○ | 30% | 30% | |
| 6 | 事業活動における環境配慮 (校庭芝生化の技術提供) | | 事務所 | ☐ (提供回数) | 18 | 18.0 | 18 | ○ | 17.9 | 18 | |

- 48期の目標は30年度環境目標値

備考 • 二酸化炭素排出量については、購入電力の排出係数を0.347 kg-CO₂/kWh (九州電力株

2014年度調整後排出係数) を用いた。

- 指定管理とは今津運動公園指定管理業務委託、現場とは指定管理以外の受注工事を示す。
- 現場の一般廃棄物とは刈草、剪定枝のみを示す。

環境活動計画及びその取組結果と評価並びに今後の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

| 取組対象 | サイト区分 | 達成状況 | 活動項目 | 実施状況 | 評価（今後の取組方向も含む） |
|----------|-------|------|---------------------|------|-------------------------------|
| 電気使用量の削減 | 事務所 | ○ | パソコン等のOA機器は省電力設定にする | ○ | ・省電力設定は守れていたため、今後も続けて行く。 |
| | | | 設定温度は冷房28度にする | ○ | ・寒さ暑さが激しく対応できなかった |
| | 指定管理 | ○ | 設定温度は冷房28度、暖房20度にする | ○ | ・利用者からの要望もあり達成は厳しかった。 |
| | | | 最低限必要な照明以外は消す | ○ | ・不使用時の停止は確実に守られていたため、今後も続け行く。 |

| 取組対象 | サイト区分 | 達成状況 | 活動項目 | 実施状況 | 評価（今後の取組方向も含む） |
|---------------|--------|----------------------|---------------------|------|--|
| ガソリン・軽油使用量の削減 | 現場・事務所 | ガソリン ○ 軽油 ○ | エコ運転の実施 | ○ | ・ドライブレコーダーを全車に設置 ・営業活動のためガソリンの使用量が増えた。 |
| | | | タイヤの空気圧を適正に保つ | ○ | ・整備担当者を決めて定期的に点検を行った。 ・芝刈り機の使用が増えた。 |
| 灯油使用量の削減 | 事務所 | ○ | エアコンの温度をこまめに変わる | ○ | 天候に合わせて温度設定を変更した。 |
| | 指定管理 | ○ | ボイラーの運転管理をこまめにする | ○ | ・今後も行う。 |
| | | | ストーブの火力調整をこまめにする | ○ | ・ストーブの芯を変え、微調整が出来る様にした ・冬の寒さにより使用量が増えた。 |
| 都市ガス使用量の削減 | 事務所 | ○ | 湯沸かし器を使用時は温度を最低にする。 | ○ | ・整備担当者を決めて定期的に点検を行った。 |

(2) 廃棄物排出量の削減

| 取組対象 | サイト区分 | 達成状況 | 活動項目 | 実施状況 | 評価（今後の取組方向も含む） |
|----------------|-------|------|----------------|------|----------------------|
| 一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | ○ | 裏紙の有効利用 | ○ | ・再利用出来ている。 |
| | 現場 | × | 場内でのリサイクル堆肥化 | ○ | ・仕事の関係で大幅に増えた |
| 産業廃棄物排出のリサイクル率 | 現場 | ○ | 分別によるリサイクル率アップ | ○ | ・分別により再生材としてリメイクされた。 |

(3) 上水使用量の削減

| 取組対象 | サイト区分 | 達成状況 | 活動項目 | 実施状況 | 評価（今後の取組方向も含む） |
|------------------|-------|------|------------------|------|-----------------------|
| 上水使用量の削減 事務所 | 事務所 | ○ | 井戸水の利用による上水使用量削減 | ○ | 昨年ポンプを修理し削減に努める様に努力した |
| 上水使用量の削減 指定管理 | 指定管理 | × | 節水を呼び掛ける | ○ | 節水を呼び掛ける |

(4) 化学物質の適正管理

| 取組対象 | サイト区分 | 達成状況 | 活動項目 | 実施状況 | 評価（今後の取組方向も含む） |
|------------|-------|------|---------------------|------|--------------------------|
| 必要最小限な在庫管理 | 事務所 | ○ | 月1回の在庫チェックと最低必要量の注文 | ○ | ・チェックリストにより在庫のチェックを実施した。 |

(5) グリーン購入の推進

| 取組対象 | サイト区分 | 達成状況 | 活動項目 | 実施状況 | 評価（今後の取組方向も含む） |
|------------|-------|------|-------------------|------|-------------------------|
| 事務所のグリーン購入 | 事務所 | ○ | 環境ラベル認定等製品を優先的に購入 | ○ | コストとのバランスを考えながら行うようにする。 |

(6) 事業活動における環境配慮

| 取組対象 | サイト区分 | 達成状況 | 活動項目 | 実施状況 | 評価（今後の取組方向も含む） |
|------------|-------|------|-----------------|------|-----------------------|
| 校庭芝生化の技術提供 | 事務所 | ○ | 校庭芝生化に関する会議等へ参加 | ○ | ・百道浜小学校、篠栗小学校、など取組んだ。 |

備考) 達成状況の表記 ○：達成されている ×：達成されていない -：判定できない、該当しない
 実施状況の表記 ○：実施されている ×：実施されていない -：判定できない、該当しない

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。
- ・令和5年10月31日に環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等から違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

| 適用される法規制等 | 適用される事項（施設・物質・活動等） |
|-------------------|--------------------|
| 廃棄物処理及び清掃に関する法律 | 事業系一般廃棄物、産業廃棄物 |
| 福岡市通達 緑の管理業務標準仕様書 | 剪定クズ及び刈りクズ |
| 建設リサイクル法 | コンクリート・鉄・アスファルト・木材 |
| 自動車リサイクル法 | 自動車 |
| 農薬取締法 | 除草剤、殺菌剤、殺虫剤の適正使用 |
| 労働安全衛生法 | ガス溶接、アーク溶接の技能講習と作業 |
| 一般高圧ガス保安規則 | 消費の基準 |
| グリーン購入法 | 環境負荷の軽減 |
| 地球温暖化対策推進法 | 地球温暖化対策 |
| 騒音規制法 改訂H28.9.30 | 工事現場 |
| 振動規制法 改訂H28.9.30 | 工事現場 |
| フロン排出抑制法 | 事務所・建物 |
| オフロード法 | 芝刈り機・重機等 |

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

（1）全体評価

- ・指定管理部門の電気使用量が削減できている。
- ・指定管理の水道量が多くなっているため削減を行っていく。

（2）見直し結果

- ・オーバーシードの時期に水がないとその後の芝生の育成に影響が出るため水道利用量の削減とのバランスを保つようにしていく。
- ・全体的に電気・水道使用量の削減に取り組んでいく事とする。